

2201

列強に包まれたエチオピア

昭和十年七月二十五日



2202

日本の貿易

昭和十年七月二十八日



小弱国

「僅ち一銭おくれ。」

日本

「サレく買ったリく、
物は飛び切り上等、
ねだんは減法安い。」

日本

「箆棒は高いよ。
そんな澤山買
はせられちや
やり切れない。」

英半属領地

物がいいから
高いのは当
り前だ。



2203

豫算難

昭和十年七月二十九日



各省

陸海軍

辛抱して
やつて呉れ

大蔵省

辛抱は鬼に角、
心棒が折れそうだ



2204

水魔山鬼

昭和十年八月一日



水魔

「景氣はわるく
おいが小供
ばかりでね。」

山鬼

「今年や
俺の方は
サバリ獲物
が無い。」



昭和十年八月三日



政府「學説」は學者に任せて置く

△「何だこ？」

政府「イヤ、機關説といふ用語はよくない

△「まだ胡麻化そうとするか？」

政府「イヤ、機關説は國體の

本義とは反せぬ

が、本義に

副はぬこ

思ふ

△「ハッキリ

と一言へ

政府

「機關説

は國體の

本義を

懲るもの

である。



2207

翠川秋子

昭和十年八月八日(立秋)



まゝあらぬ

うき世乃秋も

立ちにけり

翠の川に

身をや沈めん

2208

雨師の水いたづら
京阪地方
復た水禍

昭和十年八月十一日



浸水家屋 八萬

死傷 六十

倒潰家屋 七十

雨量 二五〇ミリ

2209

軍務局長永田鐵山暗殺

昭和十年八月十二日



2210

満支名物 匪賊

昭和十年八月十六日



斬り取り強盗は

野武士の習い、

善か悪かは知らぬども、

柳は緑の林に隠れ、

花はくれふいの血に浸る。

ドリヤ一こかせぎ

せすはふるまい。



2211

七日七夜の霖雨

気温十六度
乃至二十一度

昭和八年八月十七日



露店屋

「ことわりや

あめが下あら

ふりもせめ

氷屋

「さり

とては

また

日の本と

いふに



ルンペン

2212

エチオピア問題

昭和十年八月十九日





2213

日米水上競技大會日本優勝

昭和十年八月十九日



2214

青森地方水禍

昭和十年八月二十四日



雨師

「こんどは
青森の方
へ行つて
見やう」



2215

嗜眠性脳炎流行

昭和十年八月二十五日



病魔
「眠れ
眠れ
永遠に
眠れ



2216

威嚇戦

昭和十年八月二十九日



伊太利

何でも呑むぞ



英吉利

天蛇を食ふ
金翅鳥だぞ



米

この悪魔の
畜生め



ソ聯

馬鹿野郎
そのサマは何だ



2217

伊國出し抜かる

昭和十年九月一日



伊
俺がねらつて
ゐたものを
ダマつて人に
譲るとは何だ。
ヨシ、店を
タミキこわ
してやる。



2218

荒廢せる怪動物園(聯盟理事會)

昭和十年九月四日



伊貫さまのやうな下等
動物は放逐してやる
エドッチが下等動物だ



2219

床次遞相急逝

昭和十年九月九日

（後任問
題紛糾）



死して未だ葬らず
互にその後任を争ふ
是れ政權の餓鬼

岡田
双方鎮まれ、
俺が兼摂
する。



2220

新發田町大火

昭和十年九月十三日
(千六十四戸焼失)

2221

富士山に鼯鼠式ケブルカー計画

昭和十年九月十四日

木花咲耶姫命
「狼籍致すと
ゆるさぬぞ」と



2222

美濃部博士起訴猶豫

昭和十年九月十八日



美濃部

「裸二貫にあつたのでサッパリ

したが、チト寒い。」

この学説は死んでも手放せよう



2223

東京商大紛騷

昭和十年九月二十日



学生「ヤー面白ぞ」

當分休講で見物だ



教授團

「不埒千萬ホ
青ニオメ

謝罪しろ



助教授團

「白票組の老ぼれめ、
糞でもくらへ

2224

鼬と栗鼠

昭和十年九月二十三日



鼬のサイゴ兵衛

俺の物を

俺が取るのだ。

邪魔だ。

引込め。

イギ栗鼠のへご助

「貴様づれに

取らせて置く

わのか。



越帯屋のハイレ嬢

「助けて下さい

2225

迷走颱風

(宮寄犬分高知)
風害甚大

昭和十年九月二十四日



東京豪雨、浸水家屋五万八千

小笠原シヤ

八丈シヤ

東京

大阪

24.A.9

24.A.6

23.P.6

21.R.6

マレ東大北
マレ東大南
マレ東大沖
(島サウ)

マレ東大北

マレ東大南
マレ東大沖
(島サウ)

2226

利根川流域未曾有の洪水

昭和十年九月二十七日



全国 死者 三七九 浸水家屋 九〇,〇〇〇
 風水害 流失家屋 一二〇〇



昭和十年九月三十日



立花家橘之助 六八

井伊直安 八五

談洲樓無枝 六七

鍵富三作

丹羽七郎 五一

田中銀之助 六三

上田萬平 五七

ベルギー
皇后

アストリッド 三〇

大石正己 八一

廣田理太郎 七一

大島義脩 六五

野田六次 七〇

小山田繁藏 六一

床次竹次郎 七〇

甲賀宣政 七七

藻寄鉄五郎

杉山茂九 七二

満洲進馬 六六

五島清太郎 六九

川上俊彦 七五

関野貞 六九

男

富井政章 七八

三村鐘三郎 六七

子

仙石政敬 六四

一瀬一二 五五

黒川義太郎 七〇

永田鐵山 五二

板東秀調 五六

高橋虎太 七〇

子

北大路實信 六七

ウリ・ホスト 三六

笠井愛治郎 七九

堤定次郎 六八

鯨井恒太郎 五二

濱口吉良 七八

岡村金太郎 六九

2228

伊工戰機迫る

昭和十年十月二日



2229

伊土開戦(アドワ爆撃)

昭和十年十月四日



エチオピア
「尋常に勝負は
セえて、
飛道具とは
卑怯千萬ふ。」



2230

世界の同情エチオピアに集る

昭和十年十月七日



見物

甲
イタリーの
野郎友則

だ。行司！

何をホシヤリ
してケツカル？乙
エチオピア！
買けるあ、顔
張れ丙
「イタリーの畜生、
買けやがれ丁
「行司！
早く引き分けろ、

伊太利制裁を受く

昭和十年十月十一日



聯盟

「その方儀

條約に背き

侵畧をはたらき

たる條不届千萬に付

此度制裁を

加ふるもの也。

伊

「篋棒め、

制裁を加へる

ふら加へて見ろ。



2232

工軍アドワを奪還す？！

昭和十年十月十二日



昭和十年十月十三日



伊

「愚愚詐
よく来た。」

褒美

はは

其方

をエチオピア

国王みして

やる。

愚愚詐

「素よりハイレ皇帝

は三代相恩の主君

であく。伊国は俱不

戴天の仇であい。

拙者は伊軍の爲に

働いて相當の恩賞を

得たい斗りで御座る。



2234

國體明徴再聲明

昭和十年十月十六日



心ろしい



2235

鮮哉完備の人

昭和十年十月二十一日



昭和十年十月二十七日



農民

「アンマリ

俺たちを

いちめるだ

から、デマッテ

居られネーだよ。

官憲

「ヨシく。アンマリ騒ぐと

却って為にふらふいぞ



2237

南京大椿事

(蔣介石豫め
難を避く)

昭和十年十二月一日



曾仲鳴

張學良

甘乃公

張繼

汪兆銘

汪兆銘狙撃
され重傷を
負ふ。



2238

芽出度き日

昭和十年十一月三日

明治神宮参拜者
百七十萬々

明治節

大安

黄道吉日

未の日

日曜

天気快晴

結婚式(組数)

大礼会館

三二

飯田橋大神宮

二八

乃木神社

八八

出雲大社

八八

出雲大社奉賛会

六三

雅叙園(式と)

八〇

大黒

四八

東京駅より
新婚旅行 一七

2239

物騒時代

昭和十年十一月五日



獄脱



殺人



強押

強盗



窃盗



詐偽



拘泥



2240

英支借款問題

昭和十年十一月七日



支那の木

英



枯れ枝に花 咲かさうとて
 ボンド投け出す 一千万
 根の腐つてゐるを 知らぬのか

2241

淺間嶽爆發關東に霾る

昭和十年十月七日



2242

支那幣制改革騒動

昭和十年十一月十一日



幣制より
幣政を改革せば国家は
平靜あらん



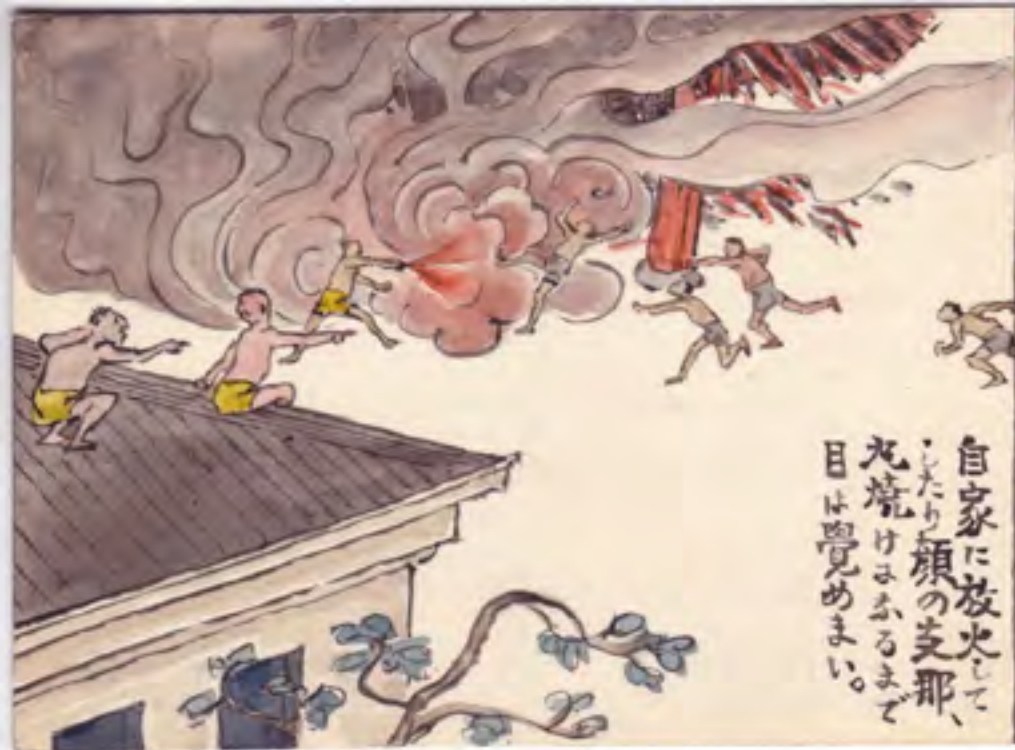
2243

上海水兵射殺事件

昭和十年十一月十二日



自家に放火して
・したり顔の支那
丸焼けはふるまで
目は覺めまい。



2244

浮世さまぐ

昭和十年十月十六日



大富豪にも苦痛

覇者窮餘の悪事

三井宗家の
相續税

三井宗家の

「二百五十万円は
チト大きい」

税務吏

「二億七千万の身代で
多ク二千万餘が何です。
しかも七ヶ年賦ですよ。」蔣介石國寶
を盗み賣り、
八百萬円を得て
對英
費に
充つ

蔣



英



2245

蔣介石轉八倒

昭和十年十一月十八日



2246

北支五省聯合自治蹉跌

昭和十年十二月二十一日



河北

皆んあ
早く積
めよ



国民政府
コラッ待て

2247

將棋聯盟分裂

神田七段昇
格問題から

昭和十年十一月二十一日



日本将棋聯盟

角ある上は飛車たがふい。金銀づくでり行か
ない挂香。フ……

脱退組

何だ神田は
言いぬか花田。
まれいサッパリ
手を切つて。
一旗挙げ
るも棋道
の意地さ。



2248

北支自治の烽火

昭和十年十二月二十五日



◇範圍二十五縣——懷柔、撫寧、昌平、通安、永清（懷柔縣）涿縣、密雲、
 遷化、宣化、玉田、薊縣、平谷、三河、豐臺、懷柔、順義、通縣、興縣、寧河、
 寶坻、香河、易縣、延慶、涿州、定興、門（門縣）◇面積——約一萬五千方哩
 ◇人口——約四百萬 ◇產業資源——棉花、石炭



殷汝耕非武裝
 地帯の独立を宣
 言す

2249

帝國總人口(國勢調査發表)

昭和十年十一月二十六日



日本帝國總人口九百四十五萬三千六百二十九

内譯

内務省	陸軍省	海軍省	逓信省	文部省	農林省	商工省	司法省	大藏省	文部省	逓信省	海軍省	陸軍省	内務省
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

東京府	神奈川縣	山梨縣	長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	滋賀縣	岐阜縣	愛知縣	三重縣	奈良縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	広島縣	山口縣	徳島縣	香川縣	高松縣	愛媛縣	高知縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	那霸縣
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

關東州	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道	南滿洲鐵道
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

府縣別人口表

東京府	神奈川縣	山梨縣	長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	滋賀縣	岐阜縣	愛知縣	三重縣	奈良縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	広島縣	山口縣	徳島縣	香川縣	高松縣	愛媛縣	高知縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	那霸縣
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

東京府	神奈川縣	山梨縣	長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	滋賀縣	岐阜縣	愛知縣	三重縣	奈良縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	広島縣	山口縣	徳島縣	香川縣	高松縣	愛媛縣	高知縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	那霸縣
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

東京府	神奈川縣	山梨縣	長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	滋賀縣	岐阜縣	愛知縣	三重縣	奈良縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	広島縣	山口縣	徳島縣	香川縣	高松縣	愛媛縣	高知縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	那霸縣
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

国名	人口	密度(人口/平方英里)	人口/平方英里	人口/平方英里
日本(内地)	69,251,265	181	2.53	17,517,717
英(1930)	49,770,000	197	4.55 (1931)	
独(1932)	65,210,000		3.04 (1932)	
米(1930)	122,770,000		2.96 (1930)	
伊(1930)	41,170,000		1.74 (1931)	
佛(1930)	41,830,000		1.57 (1931)	
ソ聯	(1926) 124,010,000			
ペルー		265		
和蘭		244		

2251

皇子御誕生

(義宮正仁親王)

昭和十年十一月廿八日



御身長一尺六寸七分七厘

御体重七百五十九匁

(備考：皇太子殿下御身長一尺六寸七分三厘
御体重八百六十九匁)



2252

北支二省二市自治問題

昭和十年十二月六日



蔣介石

「この泥棒め」

宋哲元

「泥棒あらおまへ
の方が上手だ」



2253

大本教檢舉

昭和十年十二月八日



2254

軍縮會議

昭和十年十二月十一日



英「潛艦全廢」



日「平等權」



米

「天引二割」

2255

ウルグエー絶交をソ聯に宣す

昭和十年十二月三十日



ウルグエー

二寸の奥までも

五分の魂はあるぞ

ウ

ソ聯

泥棒までも

三分の理は

あるぞ



ソ聯

逝ける人

自昭和十年十月一日
至今 十月三十一日
昭和十年十二月三十一日

芳村伊十郎七八

孫傳芳

林 鶴一六三

山脇房子六九

千葉竜雄五八

木村之寿弥太七一

上原鹿造七一

八田三郎七一

原亮三郎六三

松本 長五九

梅村貞明六九

曾我祐準九三

アサーヘンジン七三

中西用徳六四

山下義韶七一

伴 宜六五

土岐 横七六

康有全四一

子爵濱尾四郎四〇

ポール・ブルジエ八三

磯部 尚六一

春山作樹六〇

シラガン・レヴィ七二

小宮三保松七七

杉田敬一郎七七

寺田寅彦五九

昭和十年畧譜

昭和十年十二月三十一日



官公辭令

送草本願寺別度工事顧問
教員檢定試驗委員臨時被免
滿洲國文教部囑託
度部新制度調査会委員被仰付
文部省宗教司囑託
教子刷新建議会委員被仰付
京成博物館設計審查囑託

內閣	三月	一月
滿洲國文教部	七月	
內閣	八月	
之部(實業教育)	九月	
內閣	十月	
朝鮮總督府	十月	

關係工事

廣州可睡齋建築設計
大倉庫古館樓閣等
高麗神社設計
釜石尾崎神社設計
暹羅舍利塔
大度教育塔窗窗
明治神宮燈籠設計
印度獻燈設計
京博博物館升審查

二月	全	四月	全	六月	全	七月	全	八月	全
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

東京市
帝國教育會

講

支那建築總論
支那建築各論
建築と獨創
佛敎寺建の諸
印度建築の諸
圖
(才二四)

文詒會	一月
文詒會	二月
朝鮮建築會	四月
營洞家務院	六月
文詒會	六月
全	七月

演

2258

昭和丙子

昭和十二年元旦



2259

ひのえねの歳（左！太）
 昭和十一年一月二日



七十路の
 坂越え
 行けば
 ひのえ
 子は
 我を迎へて
 ちよと呼ぶなり



七十



2260

軍縮會議決裂

昭和十一年一月十五日

日本脱退
四国繼續



① 日 禽獸の徒輩

共に語るに足
らず、已矣、



② 米

③ 英

④ 伊

⑤ 佛



2261

伊工戦局(暫時休憩)

昭和十二年二月十八日

伊太利軍

三ノオビノ軍



2262

衆議院解散

昭和十一年二月二十日



岡田

政友會



2263

海上雲遠

昭和十二年一月廿二日



荒波の
海のあなただけ
むら雲を
破りて出づ
日の本の
國



2264

東京市の亂脈

昭和十一年一月廿九日



2265

五十四年來の大雪

東京深さ一尺二寸

昭和十二年二月四日



追記

二月二十三日

又大雪、東京

深さ一尺一

寸五分

二月二十五日

又雪降る

深さ三寸五分

2266

滿蒙衝突

(滿蒙國境
蒙兵侵入)

昭和十一年二月十三日



日滿

從之西
外蒙古
共和國
從之東
滿洲國

外蒙



2267

選舉肅正

昭和十一年二月十五日



2268

大阪激震

昭和十一年二月二十一日



総選挙成績民心轉向の徴

昭和十一年二月二十三日

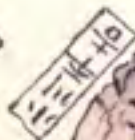


町田忠治



「喜三郎は
悲三郎
平吉は
不平吉」

安部磯雄



磯雄はいそ

謙藏は憲藏

忠治はチュー治で

鼠鳴き

民政	二〇五
政友	一七四
昭和	二〇
社大	一八
国盟	一五
中立	二五
その他	九
合計	四六六



春曉血染の空

昭和十一年二月二十六日

岡田首相、齋藤内大臣、
渡邊教育総監即死、
鈴木侍從長重傷、
高橋藏相負傷



227

岡田首相生存す

昭和十一年二月二十九日



岡田
「俺は生きて
居るよ」



岡田啓介之権

叛軍歸順

(頭目野中大尉自決、
その他將校等、刑務所へ)

昭和十二年三月一日



叛軍近衛歩兵才三聯隊、
歩兵才三聯隊、
歩兵才三聯隊、
野戦重砲兵才七聯隊等、
將兵約千四百數十名、
武蔵司令部は甲府、
水戸高崎、中郡宮、
松本、仙臺、若松等、
より一部隊を召集して、
帝都を護り、叛乱軍と
説得して降順せしめた。



東京警備
司令官、
戒嚴司令官、
香椎中將

廣田内閣流産？

昭和十一年三月七日

宮相 松平恒雄
内府 湯淺倉平

廣田

「あいた……、
マ……待つて呉れ
好い児を産むから」

軍部

「あんな不良児、
畸形児、低能児を
産む奴があるか、
シッカリしろ。」内務 理 達田 久
外務 青川 義典
蔵 吉岡 寛

2274

獨乙ロカルノ條約廢棄集
ライン非武装地帯に進軍す



昭和十二年三月八日

獨乙

和蘭

白耳義

佛蘭西

英吉利



廣田内閣成る

昭和十一年三月九日



總理 廣田弘毅
 外務 同 上
 内務 湖惠之助
 文部 同 上
 大藏 馬場鑒一
 陸軍 寺内寿一
 海軍 永野修身
 司法 林銑三郎
 農林 島田俊雄
 商工 頼母桂吉
 鉄道 前田米藏
 逓信 川崎卓吉
 拓務 永田秀吉
 輔長 藤沼

廣田

「これから

好いだろ」



軍部

「マア我慢
してやろ」

2276

大本教滅亡

昭和十一年三月十五日



2277

蘇聯及外蒙軍備配置

昭和十一年三月二十一日



逝ける人

自一月一日
至三月三十一日
昭和十一年三月三十一日

四條隆英六二伯	戸田氏共六八三
藤山常一六六	安川清三郎六〇
宮本仲八〇	桑山鉄男五六
山縣治郎五六	佐々木正藏八三
野田鶴雄六四	榊原幾久
生田長江五五	太田爲三郎七二
松永武吉六八	後藤環四六六
吉田磯吉七〇子	相馬孟胤四八
長島吾助	千坂智次郎六九
吉田磯吉七〇子	齋藤實
坪井九馬三七九	渡邊錠太郎
内山熊八郎五八子	高橋是清八三
小池仁郎	稲茂登三郎七一
栗生武右門	古谷德兵衛五九
立川雪平八〇	奥本吾市六一
山番友郎吉	森外三郎七二
仁田直六三	弘世助太郎六六
杉原榮三郎七二	夢野久作四八
飯尾三郎六七	内田康哉七二
中條精一郎六九伯	入江爲守六九
龜井忠一八一子	松尾傳藏
松田源治六二	富子殿下七五
赤塚自得六六	小林芳郎八〇
二條邦基	金剛右京六五
山本直太郎五三	山本素太郎七〇
原田六郎四九	照内豐六一
上杉文秀七〇	川崎卓吉六六
村井保固八三	橋本文吉五二

英皇皇帝

2279

伊軍アデスアベを爆撃す
昭和十一年四月六日「アッ！変ふものが
降つて來た」

南京政府

ソ支葛藤?八百長?

昭和十一年四月七日



「外蒙は俺の見だよ、
返へして呉れ。」

ソ聯邦

「ダメレ!馬鹿!

これは俺の見だよ、分ったか。」

外蒙古



2281

三・二六事件後日譚

昭和十一年四月十日



「叛乱の
張本は
あの魔
王だ」



2282

日満包圍する

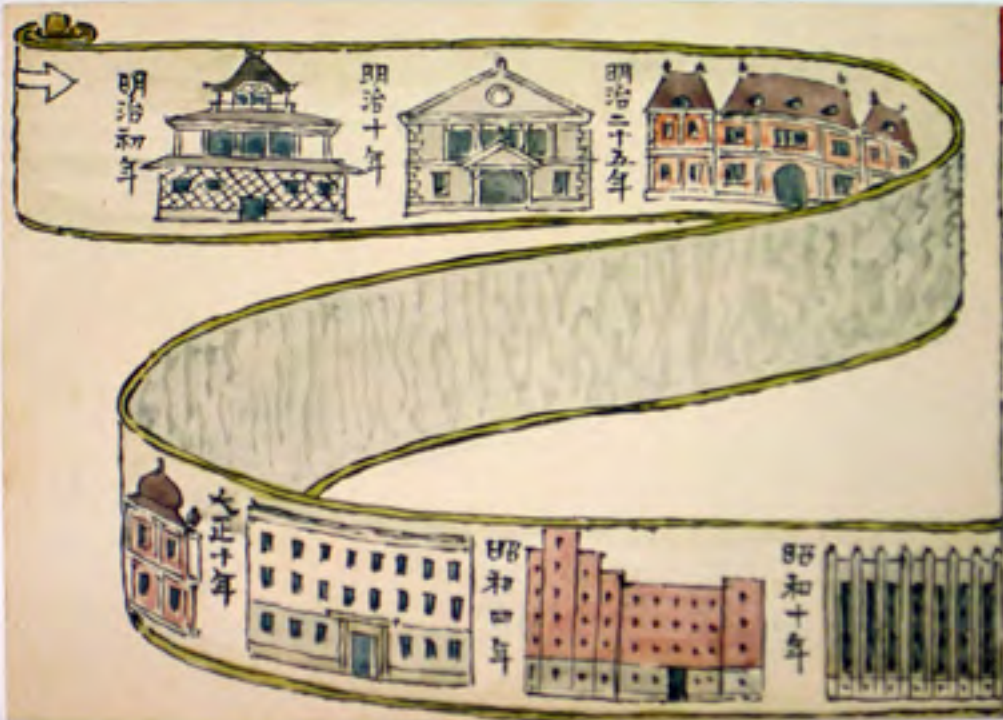
昭和十一年四月十一日



2283

建築學會五十周年

昭和十一年四月九日





2284

工才。ヒア風前の燈

昭和十二年四月十六日

大東

2285

春寒凌峭

昭和十一年四月十六日



蛙

眼は覺めたが
寒くて起きられずい



蛇

目と眠りやう



ゲザル以来の英雄？

昭和十一年四月二十三日



佛

英

ムッソリーニ

「蟲ケラ同然のエチオピア、
 狗鼠より劣る英佛の弱蟲、
 俺の鼻いきで吹き飛ばした
 までの事だ、
 アハハ……」



2287

自殺心中流行

昭和十一年四月二十六日



「生きて居る」

資格がない



「生きて」

は居られ

ない



「あの世で」

気楽

子遊

びま

しやう



「三十六計」

地獄へ轉居

は如かず



「冥途」

の旅の

道づれ

にあつて

呉れ



「遠くは行

かじ、あと

追つかけて、

オ、そうじや



昭和十年十月一日
昭勢調査成績
昭和十一年四月二十八日

府縣別人口

全 國	六九、二五四、一四八
東京府	六、三六九、九一九
大阪府	四、二九七、一七四
北海道	三、〇六八、二八二
兵庫縣	二、九二三、二四九
愛知縣	二、八六二、七〇一
新潟縣	二、七五五、八〇四
靜岡縣	一、九九五、七七七
神奈川縣	一、九三九、八六〇
青森縣	一、八四〇、〇〇五
山梨縣	一、八〇四、九一六
長野縣	一、七四四、〇〇〇
長野縣	一、七〇二、五〇八
長野縣	一、五九一、四六六
長野縣	一、五八一、五六三
長野縣	一、五四八、九九一
長野縣	一、五四六、三九四
長野縣	一、五二八、八五四
長野縣	一、三八七、〇五四
長野縣	一、三三二、六四七
長野縣	一、二九六、八八三
長野縣	一、二四二、四三三
長野縣	一、二三四、八〇一
長野縣	一、二三五、七九九
長野縣	一、一九五、〇五七
長野縣	一、一九〇、五四二
長野縣	一、一七四、五九五
長野縣	一、一六四、八九八
長野縣	一、一六八、二二二
長野縣	一、〇四六、一一一
長野縣	一、〇三七、七四四

大分縣	九八〇、四八八
南薩縣	九六七、一二九
和歌山縣	八六四、〇八七
宮崎縣	八二四、四三一
高知縣	七九八、八九〇
石川縣	七六八、四一六
香川縣	七四八、六五六
島根縣	七四七、一一九
德島縣	七二八、七四八
高知縣	七一四、九八〇
高知縣	七一四、四三六
佐賀縣	六八六、一一七
山梨縣	六四六、七二七
福井縣	六四六、六五九
奈良縣	六二〇、四七一
奈良縣	五九二、四九四
島根縣	四九〇、四六一



一年平均増加
人口
九十六萬
二十九人

2290

壬午。ヒラ皇帝蒙塵

昭和十二年五月三日



アセスアバを

あとに見て
行衛はいづこ

白波の

よるべふぎさの

捨て小舟

泣かじとすまど

湧きかへる

血汐の涙

紅海の

水かさまさる

ばかりあり



エチオピア國亡ぶ

伊國エチオピア
併合を宣す
昭和十一年五月九日

傍若無人の
伊太利のふるまひ
矇弱無仁の
列國のふるまひ



伊
エチオ鳥一羽じや
喰ひ足りふい。こんどは
バルカン鳥をヤツケ
ずはふるまひ。

2292

ジニーヴァ聯盟會議珍風景

昭和十一年五月十一日



伊太利代表歹意地男

俺が殺した筈の

エチオピアが

出て来る

と云

奇怪千万

幽霊と同

席は眞平

御免だ。



エチオピア代表

「已れ

伊太利、

よくも俺を

殺したふ。

この恨

やはか晴さ

で置くべ

きか。



2293

好一對の愚論

昭和十一年五月十三日



平生文相
「漢字ハ
全廢シ
ふけれバ
オラん



「ナ、何と、
今一度言つて見よ。」



盛岡の田中館愛橘



Tanakadate
"Romaduo Kogudu nu
Sunagereba naran"

「相かてらオ
馬鹿を言ひ
おる哩」



2294

妖女

阿部さだ

昭和十二年五月廿二日



2295

双葉山全勝

昭和十一年五月廿四日



玉舖男女川順對

[illegible]

○ 莊清	○ 莊清
○ 敦海	○ 敦海
● 國圖	● 國圖
○ 出基	○ 出基

○關東
○關西
○關中

○ 陽	○ 陰
○ 陽	○ 陰
○ 陽	○ 陰

● 清水

[illegible]

○ 泗水

○●○

7

天竺山



10



1

100

10

武高山
兩水州
双美山

休
子
子

[illegible]

●	○
同	等
○	○
衣	新
服	可

○
○
○

[illegible]

●平韻

不伴

体

雙葉山

西山

体体体体体体体体体体

清水煎

雙山

男女川

玉錦

2296

滿洲匪賊分布

昭和十年十二月現在

昭和十一年五月二十八日



秋季當初の匪賊横行地域

十月末頃の中小匪賊の出没地

十月末頃の匪賊の根據地

追懷

(四十一年前)

昭和十一年六月九日



北溟江原鋼

論伊東君

五分街氣七分俠
置酒縱橫論英雄
落龍無悔有變術
想見他年伊先生

明治三十八年

潛龍伊東忠太

追懷

蹉跎追憶七十年
追懷既往轉倏然
漫呵筆硯灑積鬱
贏得洛陽兒女憐

昭和十二年





2298

匪賊討伐(滿洲国の話)

昭和十一年六月十二日



2299

日蝕皆既

昭和十一年六月十九日



2300

日濠葛藤

(輸出制限
関税問題)

昭和十一年六月二十五日

